

日本分析化学会九州支部 2020 年度 第 2 回常任幹事会

日時:令和 3 年 2 月 13 日(土) 14 時 00 分～16 時 00 分

場所:Zoom によるオンライン会議

出席者(敬称略・順不同):黒田直敬(支部長)、井原敏博(次期支部長/代議員)、巴山 忠(副支部長/Anal.Sci.編集委員)、浜瀬健司(監査)、石川洋哉(常任幹事)、稲田 幹(常任幹事)、王子田彰夫(常任幹事)、川上健次(常任幹事)、佐藤 博(代議員/常任幹事)、宗 伸明(常任幹事)、高橋幸奈(常任幹事)、西田正志(常任幹事)、松森信明(常任幹事)、吉留俊史(常任幹事)、井倉則之(幹事/ぶんせき編集委員)、加地範匡(幹事/分析化学講習会実行委員長)、北村裕介(幹事/次期会計幹事)、佐藤しのぶ(幹事/分析化学編集委員)、戸田 敬(本部理事/幹事)、水城圭司(次期庶務幹事)、中村沙織(会計幹事)、岸川直哉(庶務幹事)

議題(担当者)

1 報告事項

1) 九州支部事業(黒田支部長、岸川庶務幹事、川上常任幹事)

九州支部事業について、九州分析化学若手研究講演会および第 38 回九州分析化学 若手の会夏季セミナーの中止と事業完了報告書、第 57 回化学関連支部合同九州大会の中止ならびに第 61 回 分析化学講習会の中止と事業報告について資料に基づいて説明がなされた。次に、黒田支部長から本年度の九州分析化学会賞および奨励賞について報告があり、受賞講演はそれぞれ来年度に延期して行うことが説明された。さらに、川上常任幹事より来年度に企画していた機器分析ワークショップは新型コロナウイルス感染症の見通しが立たないため、白紙に戻して検討するということについて説明がなされた。

2) 支部関連会議(岸川庶務幹事)

資料に基づいて、2020 年度は九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会、第 1 回常任幹事会、学会賞等候補者推薦委員会、幹事会、第 2 回常任幹事会の計 5 回の会議が開催されたことが報告された。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、選考委員会および第 1 回常任幹事会はメール会議で開催され、学会賞等候補者推薦委員会、幹事会および第 2 回常任幹事会はオンラインで開催されたことが説明された。

3) 支部講演会・見学会(岸川庶務幹事)

新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は支部講演会・見学会の開催を見送られたことが説明された。支部講演会で行う予定であった受賞講演会は来年度へと延期となることが説明された。

4) 理事会(戸田本部理事)

2020年度第4回理事会(10月8日開催)、第5回理事会(12月10日開催)について、議事録および資料に基づいて、戸田本部理事より本部の組織運営、規程改訂、キャッシュフロー状況、出版事業の外部委託、今後の年会・討論会の予定、会員管理システム、「ぶんせき」誌の電子化、事業の廃止・縮小および会員現況・入退会状況の報告がなされた。

5) 2020年度支部会計報告(中村会計幹事)

資料に基づいて、2月13日時点での会計報告がなされた。

6) 各誌編集委員会

Analytical Sciences (巴山編集委員)

2020年度第4回(11月26日開催)、第5回(1月22日開催)の編集委員会について、議事録に基づいて、編集委員の巴山庶務幹事から総説特集号、プロモーション活動の報告ならびに現在のインパクトファクターに関する説明がなされた。

ぶんせき(井倉編集委員)

2020年度第3回編集委員会(1月19日開催)について、議題一覧に基づいて編集委員の井倉幹事から今後の予定等に関する説明がなされた。

分析化学(佐藤編集委員)

2020年度第7回編集委員会(1月21日開催)について、議事録に基づいて編集委員の佐藤幹事から、2021年年間特集「食」や若手初論文特集等についての報告がなされた。

7) その他(黒田支部長、岸川庶務幹事)

黒田支部長より日本分析化学会九州支部共催事業の延期に関する報告がなされた。また、岸川庶務幹事より日本分析化学会原田副会長よりの連絡事項に関する説明がなされた。

2 審議事項

1) 2021年度支部・本部関係役員(岸川庶務幹事)

2021年度本部・支部役員について、前回の幹事会およびそれ以降に報告や選出の依頼がなされた支部役員について案が示され、了承された。

2) 支部役員の変更(岸川庶務幹事)

2021年度開始以後の変更について一覧が示された。第2回常任幹事会では2名の新任、1名の担当者変更、4名の役員変更および3名の幹事退任が承認された。

3) 2021 年度支部予算(中村会計幹事)

2021 年度の予算案について資料に基づいて、収入・支出の各科目の説明がなされ、了承された。新型コロナウイルス感染症による予算への影響や今後の若手の会への助成金に関する議論がなされた。

4) 2021 年度支部事業計画(岸川庶務幹事)

研究発表会、講演会等、講習会およびその他の事業について概要の説明がなされ、了承された。

5) 第 58 回化学関連支部合同九州大会(岸川庶務幹事)

資料に基づいて、2021 年度は 7 月 3 日(土)に北九州国際会議場で開催され、発表申込期間は 3 月 1 日(月)~4 月 9 日(金)であること、依頼講演は 2020 年度に延期になった第 57 回大会に引き続いて末田慎二先生(九州工業大学) をお願いしていることの説明がなされ、承認された。

6) 九州分析化学若手の会第 34 回研究講演会および第 39 回夏季セミナー(佐藤世話人)

代表世話人の佐藤幹事から、提出された資料に基づいて開催の概要および予算案が説明され、承認された。また、九州支部と北海道支部との交流事業の現場に関する質疑応答がなされた。なお、開催に関しては新型コロナウイルス感染症による今後の影響を考慮しながら、井原次期支部長と相談のうえ今後決断してゆく旨の説明がなされた。

7) 第 62 回分析化学講習会(黒田次期実行委員長)

来年度の分析化学講習会事務局は、本年度の九州支部事務局が担当することが黒田支部長より報告され、承認された。また、既に第 1 回実行委員会が 2020 年 1 月 25 日(月)にオンラインで開催されたことが報告された。なお、開催に関しては実施担当予定者から現状の説明があり、新型コロナウイルス感染症による今後の影響を考慮しながら、井原次期支部長と相談のうえ今後決断してゆく旨の説明がなされた。

8) その他

黒田支部長より九州分析化学会賞・奨励賞について説明と推薦依頼がなされた。続いて、岸川庶務幹事より次年度の役員名簿が示され、確認依頼がなされた。また、年会討論会 WG についての議論がなされた。このほか、2023 年度の年会の開催地が九州であることから、具体的な開催地を 2021 年度内に決定するという事になった。

以上